

施策マネジメントシート

作成日 平成 30 年 8 月 31 日

施策	No. 07	活力ある地域経済づくり					
施策 主管課	観光商工課	氏名	小宮山昌彦	施策 関係課	総務課		

1. 現状把握 Plan→Do

(1) 施策の目的と指標

① 対象 (誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 ◇ 小売業者 ◇ 農工団地 ◇ 市民	③ 対象指標名称 (対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない (単位)
	a 卸・小売業事業所数、製造・建設業事業所数⇒法人税で管理している事業所数 事業所
	b 農工団地の区画数 区画
② 意図 (対象をどういう状態に変えるのか) ◇ 安定した経営ができる。 ◇ 企業が立地する。 ◇ 安定して働く場が確保される。	c 笛吹市の人口<4月1日現在> 人
	④ 成果指標名称 (意図の達成度の指標) 数字は記入しない (単位)
	d 企業誘致(企業誘致活動を含む) 企業
⑤ 成果指標設定の考え方 ◇ 企業誘致による雇用の創出を企業誘致(企業誘致活動を含む)件数で把握する。 ◇ 安定した雇用の場が確保されているかを企業への就業者数で判断する。 ◇ 安定的な雇用機会の確保、就業活動の支援活動を企業ガイダンス参加企業数で判断する。	e 企業への就業者数(特別徴収者数) 人
	f 企業ガイダンス参加企業数 企業
	g
	h
	⑥ 成果指標の取得方法 ◇ 企業への就業者数(市内企業特別徴収者数)は、税務課(課税状況調べ)にて把握 ◇ 企業誘致件数、企業ガイダンス参加企業数は、観光商工課把握

			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	
			実績、決算	実績、決算	実績、決算	実績、決算	実績、決算	実績、決算	最終目標	
対象指標	a 卸・小売業事業所数、製造・建設業事業所数⇒法人税で管理している事業所数	事業所	見込み値	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	1,700	
		実績値	1,626	1,639	1,669	1,685	1,693	1,730	1,760	
	b 農工団地の区画数	区画	見込み値	27	27	27	27	27	27	
		実績値	27	27	27	27	27	27	27	
	c 笛吹市の人口<4月1日現在>	人	見込み値	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	72,000	
		実績値	72,192	72,145	71,724	71,132	70,749	70,599	69,861	
成果指標	d 企業誘致(企業誘致活動を含む)	企業	成り行き値	0	0	0	0	0	0	
		目標値	2	2	3	4	4	5	5	
		実績値	0	0	0	0	2	5	4	
	e 企業への就業者数(特別徴収者数)	人	成り行き値	15,700	15,800	15,800	15,800	15,800	15,800	
		目標値	16,250	16,300	16,300	16,400	16,500	16,600	16,700	
		実績値	16,018	16,301	16,498	18,098	19,485	20,054	21,469	
	f 企業ガイダンス参加企業数	企業	成り行き値	20	20	20	20	20	20	
		目標値	25	25	25	25	25	25	25	
		実績値	25	19	14	23	19	26	32	
	g		成り行き値							
		目標値								
		実績値								
h		成り行き値								
	目標値									
	実績値									
施策コスト	事務事業数		本	4	4	8	11	13	11	
	事業費 (A)		千円	89,477	71,932	65,511	65,563	169,320	98,458	103,359
	うち一般財源 (A')		千円	88,749	71,900	65,479	63,769	58,884	95,421	103,323
	人件費 (B)		千円	5,540	6,219	7,517	7,750	9,163	7,850	12,304
	トータルコスト (A+B) (C)		千円	95,017	78,151	73,028	73,313	178,483	106,308	115,663
施策に係る事務事業コストの合計		うち一財 (A'+B) (C')	千円	94,289	78,119	72,996	71,519	68,047	103,271	115,627

(3) 施策の目標設定の根拠 (水準の理由と前提条件)

◇ 企業誘致(企業誘致活動を含む)件数:成り行き値はH23年度実績値により設定。目標値は農工団地の募集枠数をもとに設定
◇ 企業への就業者数(特別徴収者数):成り行き値は笛吹市の3階層別人口推計(15-64歳)のH22-27伸率+2.3%/年をH18年度実績値(15,443)に乗じて求めた。目標値はH22年度実績値(16,227)をもとにH25年度から毎年100人増で設定
◇ 企業ガイダンス参加企業数は:成り行き値は過去の平均値を基に20企業と設定。目標値はH23年度実績をもとに設定

(4) 施策の役割分担 (住民と行政との役割分担)

ア) 住民の役割 (住民・地域・団体・事業所が、自助・共助でやるべきこと) ◇ 市民は地域で消費する。 ◇ 事業者は生産や販売を増やす努力をする。 ◇ 市民は、高等教育や職業訓練を受けたり、資格を取得するなど、知識や技能を身につける。 ◇ 高等教育機関は、学生の就職をあっせんする。 ◇ 市内の事業所は、笛吹市民の雇用を増やす。	イ) 行政の役割 (市・県・国がやるべきこと) ◇ 意欲と能力がある事業所に対して支援する。 ◇ 企業が進出しやすい環境をつくる。 ◇ 市は、事業所と連携して就業環境を整える。 ◇ 高齢者の就業促進に向けた環境づくりを支援する。 ◇ 女性等の子育てを支援して安定した就業環境をつくる。 ◇ 国・県は求職・求人のあっせん(ハローワーク等)をする。 ◇ 国・県は若者の高等教育や失業者の職業訓練を実施する。
--	---

(5)環境変化 (対象者や根拠法令等は5年前と比べてどう変わったのか?)

◇団塊世代の退職後の雇用機会の要求が高まる。
◇企業の求める雇用形態が変わり、非正規雇用が増加した。一方、就業者のニーズも変化し、パートタイム労働や派遣・契約社員など、就業形態が多様化している。
◇経済情勢の変化に伴って若者の雇用状況が変化している。
◇農家の高齢化が進み、労働力確保のためシルバー人材派遣センターへの依頼が増えた。

(6)関係者の意見・要望 (住民、議会、対象者、利害関係者等)

◇市民から、企業誘致を進めるべきだとの意見がある。
◇市民から、市街地の商業機能の充実を図るべきだとの意見がある。
◇市民から、緊急融資対策が必要との声がある。
◇市民から、若者が地元で働けるような就業の場がほしいという意見がある。
◇市民から、シルバー人材センターがもっと活用されるようにとの意見がある。

2. H29年度の施策の実績 Check

(1)施策の成果実績

① 目標達成度評価 (前年度目標値と実績値との比較) ● 目標値より高い実績値だった ○ 目標値どおりの実績値だった ○ 目標値より低い実績値だった	⇒左記の背景として考えられること ◇企業誘致(誘致活動含む)は、H29年度目標値5企業に対し、実績値は4企業あり、ここ数年入居数0であったが景気浮揚を感じた。(輸出関連企業とリサイクル業者であり、企業活動が上向いていると思われる) ◇企業への就業者数(市内企業特別徴収者数)は、H29年度目標値16,700人に対し、実績値は21,469人と、5,000人近く上回った。(雇用が増加しているのは、輸出関連企業等における円安好況によるものと、税務課による企業への特別徴収推進に関する活動の成果が現れたことによるものと思われる。) ◇企業ガイダンス参加企業数は、H29年度目標値25社に対し、実績値は32社と目標を達成した。(雇用情勢が好転し、求人需要が増加したと思われる。)
② 時系列比較 (過去3か年の比較) ○ 成果がかなり向上した ● 成果がどちらかと言えば向上した ○ 成果はほとんど変わらない(横ばい状態) ○ 成果がどちらかと言えば低下した ○ 成果がかなり低下した	⇒左記の背景として考えられること ◇企業誘致(企業誘致活動を含む)は、H27年度は実績値2、H28年度は実績値5、H29年度は実績値4企業と増加傾向にある。(輸出関連企業とリサイクル業者であり、企業活動が上向いていると思われる) ◇企業への就業者数(市内企業特別徴収者数)は、H27年度19,485人、H28年度20,054人、H29年度21,469人と増加傾向にある。(雇用が増加しているのは、輸出関連企業等における円安好況によるものと、税務課による企業への特別徴収推進に関する活動の成果が現れたことによるものと思われる。) ◇企業ガイダンス参加企業数は、H27年度19社、H28年度が26社、H29年度が32社とH27年度は低下したが、その後増加に転じた。(雇用情勢が好転し、求人需要が増加したと思われる。)
③ 他自治体との成果実績値の比較 ○ 他自治体と比べてかなり高い成果水準である ○ 他自治体と比べてどちらかと言えば高い成果水準である ● 他自治体と比べてほぼ同水準である ○ 他自治体と比べてどちらかと言えば低い成果水準である ○ 他自治体と比べてかなり低い成果水準である 比較自治体名⇒ 南アルプス市、甲府市	⇒左記の背景として考えられること ◇企業誘致(企業誘致活動を含む)は、笛吹市4企業、南ア市1企業、甲府市1企業と他市より高めとなっている。(スマートインター整備等による農耕団地への交通アクセス等の向上) ◇企業への就業者数(市内企業特別徴収者数)は、笛吹市21,469人、南ア市26,526人、甲府市56,815人と他市よりかなり低めとなっている。(笛吹市では、一次産業が他市より多いなど、それぞれの市の特性を活かした産業形態に相違があるため比較困難) ◇ガイダンス参加企業数は、笛吹市H28年度26社⇒H29年度32社、南ア市H28年度32社⇒H29年度42社と他市より低めとなっている。(甲府市はガイダンスを実施していないためデータなし) ◇シルバー人材センター登録者数で比較すると、H28年度は、笛吹市496人・甲府市653人・南ア市476人、H29年度は、笛吹市526人・甲府市654人・南ア市506人となっている。各地とも増加しており、労働意欲のある高齢者が増えていると思われる。

(2)施策のコスト実績 (対象1単位当たり又は住民一人当たりのコスト)

対象指標名称⇒ 卸・小売業事業所数、製造・建設業事業所数 (単位)	27 年度	28 年度	29 年度	効率性評価
*対象指標実績値 (D) (1枚目の a) 事業所	1,693	1,730	1,760	◇僅かにコストが上がったが、目標値より高い成果実績となったため、効率性については、低下したとは言えない状況であると考え。
*対象1単位当たり事業費 (1枚目 A / D) 円	100,012	56,912	58,727	
*対象1単位当たり人件費 (1枚目 B / D) 円	5,412	4,538	6,991	
*対象1単位当たりトータルコスト (1枚目 C / D) 円	105,424	61,450	65,718	

3.最終的な施策の総括 Action

(1)達成状況の分析(理由と改善点)

◇大規模小売店が進出し、地元商店街の活気が薄れている。また、インターネット販売など、消費者の購買行動が変化している。
◇商工業者に対する支援が効果をあげているか検証し、商工団体への補助のあり方を見直した。
◇企業が進出しやすい環境をつくり、意欲と能力がある事業者を支援する。例えば、市内の異業種が交流する機会をつくり、新産業や新商品の開発を促した。⇒「ものづくり企業の意見交換会(商工総務事務)」
◇H21年度からは、商工総務事務の中で市内の企業を対象とした企業就職ガイダンスを開催し、企業に対して人材確保の場を提供した。
◇H23年度末発生した東日本大震災の二次的影響により、商工業者は厳しい状況下に置かれたため、市は笛吹市商工振興災害対策資金の融資制度を打ち立て、状況改善に努めてきたが、いまだ厳しい状況は続いている。平成28年度から創業者への経営、融資等の指導を行うには専門性が必須であることから、経営指導員のいる笛吹市商工会にワンストップ窓口を設置した。